

船舶事故等調査報告書

平成22年4月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第183号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年4月21日 20時25分ごろ	
発生場所	千葉県千葉港第2区 MCターミナル岸壁付近 (概位 北緯35°33.0′ 東経140°06.8′)	
事故等調査の経過	平成21年7月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	液体化学薬品ばら積船 ^{りょうしん} 菱心、416トン	
船舶番号、船舶所有者等	131770、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	推進器曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、千葉港第2区のMCターミナル岸壁にて、ヘキセンI約400トンを積み、船首約2.3m、船尾約3.8mの喫水で、MCターミナル岸壁前の幅約70mの水路を出航中、平成21年4月21日20時25分ごろ、水路の右側端付近の浅所に船底が接触した。 事故後、本船は、目的地の茨城県鹿島港に向けて航海を継続した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南東、風力 4 海象：潮汐 下げ潮の末期、潮高 約65cm	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、千葉港第2区のMCターミナル岸壁前の水路を出航中、同水路の右側端に寄りすぎたことから、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が千葉港第2区のMCターミナル岸壁前の水路を出航中、水路の右側端に寄りすぎたため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	